

「ここが、肝腎です」

じん

[Vol.23] シリーズ：慢性腎臓病(CKD)と心臓病の意外な関係②



梶田達也先生



齋木豊徳先生

このコラムは「福德永会さいきじんクリニック」の院長・齋木豊徳先生、透析センター長・梶田達也先生が、腎臓の病気の知識や情報について解説。今回は梶田先生による6回シリーズ「慢性腎臓病(CKD)と心臓病の意外な関係」の2回目です。

高血圧と慢性腎臓病(CKD)・心臓病の関係

古代中国の陰陽五行説 140 mmHg、または拡張期血圧90 mmHg以上が該当。30歳以上の日本人男性の47.5%、女性の43.8%が高血圧症で、治療未治療を含め約400万人に上ります。

腎臓は血液を、濾過(ろか)・清浄し、尿を生成・排せつする重要な臓器で、濾過するフィルター(糸球体)の役割をしているのが、直径数ミクロンの毛細血管が糸玉状に集まった糸球体という器官です。腎臓は血管の豊富な臓器で、心臓から拍出された血液の1/4量に相当する大量の血液が絶えず流入しています。糸球体に血液を輸送する直径数十ミクロンの細い動脈

が、直接数ミクロンの毛細血管が糸玉状に集まった糸球体という器官です。腎臓は血管の豊富な臓器で、心臓から拍出された血液の1/4量に相当する大量の血液が絶えず流入しています。糸球体に血液を輸送する直径数十ミクロンの細い動脈

まい、ますます腎機能障害の関係をあります。

書を進捗させる悪循環を繰り返してしまいます。

一方、蛋白尿や腎機能障害が継続して認められ始めると、腎臓病以外の脳卒中や心筋梗塞(こうそく)といった重篤な心血管疾患を合併する危険性が高まるのが判明しています。そのメカニズムはまだ完全には解明されてはいませんが、蛋白尿や腎機能障害といった腎臓病に特有の動脈硬化を推し進める要因や仕組みの関与が明らかになりつつあり、腎臓病は脳卒中や心臓病を呼ぶ危険な状態であることが意識されはじめています。

このように高血圧症と腎臓病は密接に関連し、高血圧症が腎障害や脳卒中、心臓病を引き起こし、腎障害がさらに高血圧を増悪させたり心血管疾患の合併や進行させる悪循環

日本での透析導入原因は、生活習慣病の糖尿傾向にあることが問題になっていきます。このため、日常的な血圧管理と、蛋白尿や腎機能障害の有無を把握し、異常がある場合は早めに医療機関を受診することが重要です。

今回は、慢性腎臓病(CKD)患者さんの血圧管理や日常生活での留意点についてです。

傷が糸球体全体に及ぶと濾過機能は低下し、腎臓全体の血流も妨げられ、硬く小さく萎縮した腎硬化症と呼ばれる状態になります。このことがさらに高血圧を増悪させてし

この記事に関する問い合わせなどは、同クリニック・腎臓病教室事務局の浜岡さんへ。

所在地 〒720-0838 福山市瀬戸町山北450-1
電話 084(949)2777
ホームページ www.saiji-cl.com/